

「かわいい」の複合語に関する小史

井原 なみは・入戸野 宏
(大阪大学大学院人間科学研究科)

A Short History of Compound Words Derived from “Kawaii”

Namiha IHARA and Hiroshi NITTONO

Graduate School of Human Sciences, Osaka University

E-mail: ihara@hus.osaka-u.ac.jp, nittono@hus.osaka-u.ac.jp

Abstract

The Japanese word “kawaii,” which roughly means *cute*, *lovely*, and *adorable* in English, is ubiquitous in Japan. It is used not only as a stand-alone adjective but also as various compound adjectives, which often combine conflicting elements, such as “kimo-kawaii” (creepy-cute) and “dasa-kawaii” (uncool-cute). In this study, we looked up newspaper article databases to investigate when the compound words derived from “kawaii” first appeared in the literature and how they have evolved. Until the late 1970s, the word “kawaii” had been mainly used to describe vulnerable, innocent beings and things, such as children, animals, and fancy goods. During the 1980s, however, the word’s scope rapidly expanded to encompass even the negative, undesirable aspects of beings and things. In the late 1990s, compound words such as “kimo-kawaii” and “dasa-kawaii” appeared in newspapers. Since approximately 2005, the variety of compound words has increased to include categorizations of women’s fashion and appearance styles, such as “otona-kawaii” (adult-cute) and “ero-kawaii” (sexy-cute). A survey on the frequency of experiencing the feelings expressed in various “kawaii” compound words found that these compound words can be organized along two axes, pleasant–unpleasant and external–internal, and can be divided into three groups: external kawaii, internal kawaii, and kawaii with unpleasant elements.

Keywords: cuteness, etymology, Japanese pop culture

【要旨】「かわいい」という言葉は、英語の *cute*, *lovely*, *adorable* におよそ対応した意味を持ち、現代の日本で幅広く使われる。この言葉は単独で使われるだけでなく、「ださかわいい」「キモかわいい」というように相反する要素をつなげた複合形容詞としても使われ

る。本研究では、これらの複合語がいつから登場し、どのように変遷してきたかについて、新聞記事データベースに基づいて調べた。「かわいい」という言葉は、1970年代後半までは子どもや動物などのあどけないものに対して使われていたが、1980年頃から対象が急速に拡大し1990年代後半になって「ださかわいい」「キモかわいい」というネガティブな形容詞との複合語表現が生まれた。2000年代後半からは、ファッションや女性の外見をカテゴライズするために「かわいい」複合語はさらに増え、「大人カワイイ」「エロカワイイ」といった言葉が登場した。さまざまな「かわいい」複合語で表される感情をどのくらい感じるかについてのアンケート調査から、これらの複合語は、快—不快、外面—内面という2軸で整理でき、外面的なかわいさ、内面的なかわいさ、不快な要素を含むかわいさの3つに分類できた。

1. はじめに

言葉は時代によって変化する。「かわいい」という言葉も例外ではなく、時代によって変化しながら、現在では海外の一部でも「kawaii」として通じる言葉になり（吉光, 2017）、「キモかわいい（気持ち悪い+かわいい）」などの複合語や「ぐうかわ（ぐうの音もでないほどにかわいい）」「めっかわ（めちゃくちゃかわいいの略）」などの派生語として表現を拡張してきた（玉崎, 2016）。

「かわいい」については、これまでの約30年間、少女文化（青柳, 2014; 大塚, 1989; 増淵, 1987）やファッション（古賀, 2009）、ファンシーグッズ（中村, 2012; 島村, 1991）の観点から、また、文化論（四方田, 2006）や行動科学的な研究として（入戸野, 2009; Nittono, 2016; 入戸野, 2019）、さまざまな調査や考察が行われてきた。これらの著作の中では、「かわいい」がいかに人々を魅了し、日本独自の文化として隆盛してきたか、そしてかわいいと感じることによってどのような効果があるかについてなどが論じられているが、「かわいい」の複合語の成り立ちや意義についてはほとんど言及されてこなかった。

しかし、さまざまな「かわいい」論の中では、「キモかわいい」に代表されるようなかわいさの中に潜む毒気こそが重要なエッセンスであるという主張が行われる。例えば、「キュートとは単に愛らしくて（スウィート）か弱そうな人や物を指すだけではない。その〈愛らしさ〉（中略）が、不気味で曖昧な存在（中略）、さらには怪物のような存在になったときに起こる現象もまた、キュートなのだ。」（May, 2019 吉嶺訳 2019）や、「『かわいい』の本質には、後述するように『キモカワ』すなわち醜悪さ、グロテスクさ、死のイメージなどが含まれている。」（斎藤, 2011）といったように、これらの一見相反する要素が「かわいい」の理解に必要であることが示唆されている。また、「エロカワイイ」「キモ

「カワイイ」は2006年に新語・流行語大賞にノミネートされており（「現代用語の基礎知識」選ユーキャン新語・流行語大賞，<https://www.jiyu.co.jp/singo/index.php?eid=00023>），社会でも一定の認知がなされている。

そこで本稿では「キモかわいい」のような「かわいい」の複合語に着目し，その誕生と発展の歴史をまとめることとした。2節では「かわいい」という言葉の語源と原義について，3節では「かわいい」が複合語として拡張していった経緯を述べる。4節では「かわいい」の複合語に関する調査結果を報告し，5節では「かわいい」の現状について論じ，最後に，本稿の限界点と今後の課題について考察する。

2. 「かわいい」の原義

「かわいい」という言葉の語源は，「かわはゆし（顔映ゆし）」である。「はゆし」はまぶしいさまを表し，「きまりがわるい，恥ずかしい」という意味で古くは1120年頃の今昔物語集に記載が確認されている。この「かわはゆし」が，「かはゆし」を経て「かわいい」へと変化した（角川古語辞典,2018）。その後，中世では「見るに忍びない」の意味が派生して「気の毒だ，不憫だ」という意味で用いられ，中世後半には弱者への憐れみの気持ち転じて「（女，子どもなど）愛らしく感じられる。甘えの気持ちをこめて愛人などをいとしいと思うさま。」という情愛の念を表すようになった。近世に入ってから不憫の意味は消失し，「愛すべきさまである。心がひかれて，放っておけない，大切にしたいという気持ち」を表す言葉として使われていく（日本国語大辞典,2007）。2006年以降に刊行された国語辞典から「かわいい」の語義を分析した宇治川（2021）は，「愛らしい」「小さい」「微笑ましい」が現代の「かわいい」を説明する中心的な語であると報告している。

もとは「恥ずかしくて顔が赤らむような状態」を表す感情形容詞であったが，時代とともに属性を形容する言葉としても使われるようになったと考えられており（日本国語大辞典,2007），現代では「かわいい」という言葉は，感情を形容する語としても，対象の属性を形容する語としても使うことができる。本稿では，かわいいと感じられる対象の属性や種類を「かわいさ」，対象に向けられた感情を「かわいい感情」と呼ぶことにする（入戸野,2019）。

3. 「かわいい」の拡張と複合語の誕生

3-1. 調査目的

「かわいい」という言葉が使われる対象の変遷，そして複合語が一般的に使われるようになった時期を推測するために，各新聞社が提供するデータベースから「かわいい」関連語の検索を行った。

3-2. 調査項目

新聞社4社（朝日新聞，日本経済新聞，読売新聞，毎日新聞）のデータベースから，「かわいい」または「かわいい」複合語について検索した。

複合語は4節の調査で使用した「共感できるかわいさ」を表すものを中心に，雑誌やインターネットから集めた「病みカワイイ・謎かわいい・オシャカワ・ずるかわいい」についても検索した。かわいいについては「可愛い・かわいい・カワイイ・かわ・カワ」の表記揺れを考慮し，それぞれの組み合わせで検索した。検索結果の中で最も早い時期に新聞の見出しまたは本文中に記載があった新聞記事を初出とした。

各データベースの詳細は以下の通りである。聞蔵IIビジュアル・フォーライブラリー（朝日新聞：1879年以降，週刊アエラ：1988年5月24日以降，週刊朝日：2000年4月以降），ヨミダス歴史館（読売新聞：1874年11月2日以降），日経テレコン21（日本経済新聞朝刊・夕刊：1949年4月以降，日経産業新聞：1975年4月以降，日経MJ・流通新聞：1975年1月以降，日経金融新聞：1987年10月～2008年1月，日経プラスワン：2000年4月以降，日経マガジン：2005年3月20日～2012年3月18日），毎索（毎日新聞：1872年3月29日以降）。

3-3. 結果と考察

データベースを用いて「かわいい」が見出しや本文に使われている紙面を検索した結果，1970年代後半頃までは「かわいい（可愛い）」という言葉が使われたすべての記事で，動物や子ども，女性に対してのみ使われていることがわかった。

変化が起きるのは1980年代以降である。1988年朝日新聞の記事では，東京造形大学の柏木博助教授（当時）が「数年前から，若い女の子たちが，褒め言葉で『カワイイ』を多用し始めました。年寄りでも，おじさんでも，みなカワイイ。この言葉は，結局，年齢も，何も超越した価値基準なんですね。」と述べている。当時の新聞には「若い世代 乏しい表現力かわいい連発」（朝日新聞，1985）や，「何にでも『これ，かわいい！』 語義が豊

富？表現の貧困？」（読売新聞, 1992）という見出しが登場し、「西洋建築でも、怪獣でも、おじさんも『かわいい』といわれちゃう。」（今吉, 1990）と評された。この頃メディアでは、若い女性を「『ウッソー』『ホントー』『カワユーイ』の三語ですべての感情を表す『三語族』」と呼ぶ流行があった（米川, 2002）。増渕（1994）は、若い女性はほとんど無意識にまたは相づち代わりに「かわいい」という言葉を乱用する「『かわいい』言語乱用症候群」（p. 6）であると表現した。

「かわいい」を含む複合語について、新聞記事での初出が確認できたものを表 1 にまとめた。最初に登場したのは 1986 年の「ぶすっかわいい」である。流行語を紹介する記事の中で、「へたうま」という言葉と共に「ブスとはいうもののかわいいという形容」と記載されていた（表 1 の No. 1）。しかし、この言葉が他の場所で使われた記録は確認できず、2002 年以降に表れる「ブスカわいい（表 1 の No. 6）」の元になった可能性もあるが、この時点では複合語のブームは起こっていなかったと考えられる。

本格的に「かわいい」の複合語が使われ始めたのは、「ダサかわいい」「きもかわいい」という言葉が複数の新聞に登場しはじめた 1990 年代後半である。これらの言葉は「かわいい」複合語の中で唯一辞書に掲載されており、「ださかわいい【ださ可愛い】：俗に、やぼったいところがかえって魅力的で、かわいらしいさま。多くファッションについていう。」「きもかわいい【きも可愛い】：俗に、キャラクターなどが、気持ち悪い見た目ではあるが、同時にどこことなくかわいらしさも感じられるさま。」（デジタル大辞泉, 2001）と解説されている。「ダサかわいい」が現れたのは、新聞社 4 社の中では 1997 年の日本経済新聞（表 1 の No. 2）が最初であった。その後、同年 8 月の記事には「ここ数年続いているダサかわいいの流行」という記述（村岡, 1997）があり、週刊アエラ（長友, 1997）や毎日新聞（吉川, 2000）などでもトレンドとして取り上げられたことから、1990 年代後半からの流行であったことがわかる。「きもかわいい」も同様に、1997 年に毎日新聞（表 1 の No. 4）で流行語として紹介された後、日経流通新聞（2001）、読売新聞（2002）や日本経済新聞（中野, 2002）でもトレンドとして紹介されていた。

「きもかわいい」が広まるきっかけのひとつに、ダンシング・ベイビーという、リアルでどこか不気味なダンスをする赤ちゃんの CG（コンピュータ・グラフィックス）映像がある。1990 年代後半にインターネット上で流行していたものが、TV ドラマ「アリー my Love」やトヨタ自動車キャミのテレビ CM（1999）にも採用され、多くの人目に触れた。その後お笑い芸人のアンガールズがブレイクし、気持ち悪いのにどこかかわいいと感じてしまう気持ちが人々の間で共有されていった。一年の間で広く大衆の目・口・耳をにぎわせた新語・流行語を選ぶ、「現代用語の基礎知識」選ユーキャン新語・流行語大賞（<https://www.jiyu.co.jp/singo/>）には、2006 年に「キモカワイイ」がノミネートされ、2008

年には、これまでのキャラクターとは一味違ってのんびりとした雰囲気と脱力感が魅力的な「ゆるキャラ」（みうら,2004）がノミネートされた。このように、これまで王道とされてきた「かわいい」とは違うものを面白いというカテゴリが誕生したのが1990年代後半から2000年代に起きた変化であった。

次の段階として、2005年頃からは「エロかわいい」「ぽちゃかわいい」など女性の容姿やファッションに関係する外見的な特徴をカテゴリライズするための複合語が登場した。2000年代はファッション雑誌の全盛期で、女性誌で「キレイかわいい」「大人可愛い」などの言葉が多用されたピークは2005年という報告もある（古賀,2009）。ヒットの中心であった「Can Cam（小学館）」の発行部数は2003年からの3年間毎年10万部ずつ増え、2006年3月号では72万部と（中野,2006）20代女性を中心に社会現象を引き起こした。Can Camは「モテかわいい系」のモデルを起用して「かわいい」から「モテる」のだという意識を社会に浸透させ、女らしさの新たなステレオタイプを強化した（高橋,2018）という主張があるように、特に2005年から2010年頃は、どの系統のかわいさであるかを区分することが女性の外見に関する価値観として重視されていた時代といえるのではないか。

こうした「かわいい」複合語の変遷イメージを図1に示した。1990年～2005年頃までは、子どもや動物などの「正統派かわいい」に対して、ややネガティブで個性的な特徴をもつ「新しいかわいい」を区別するタイプの複合語だけが存在していたが、その後ファッションや女性の外見的なかわいさをカテゴリライズするためのポジティブな複合語が増えていき、「あざとい」というような内面的な要素をも取り込むようになったことが見えてくる。複合語は一気に広がったのではなく、「かわいい」という大きな枠組みの中で、カテゴリを増築するように段階的に拡張していったと推測できる。宇治川（2021）が指摘するように、人々が関心を持つ対象には多くの名称ができ、細かく区別される傾向があるとすれば、「かわいい」複合語の発展の背景には「かわいい」という語の多用（乱用）が影響したと考えられる。

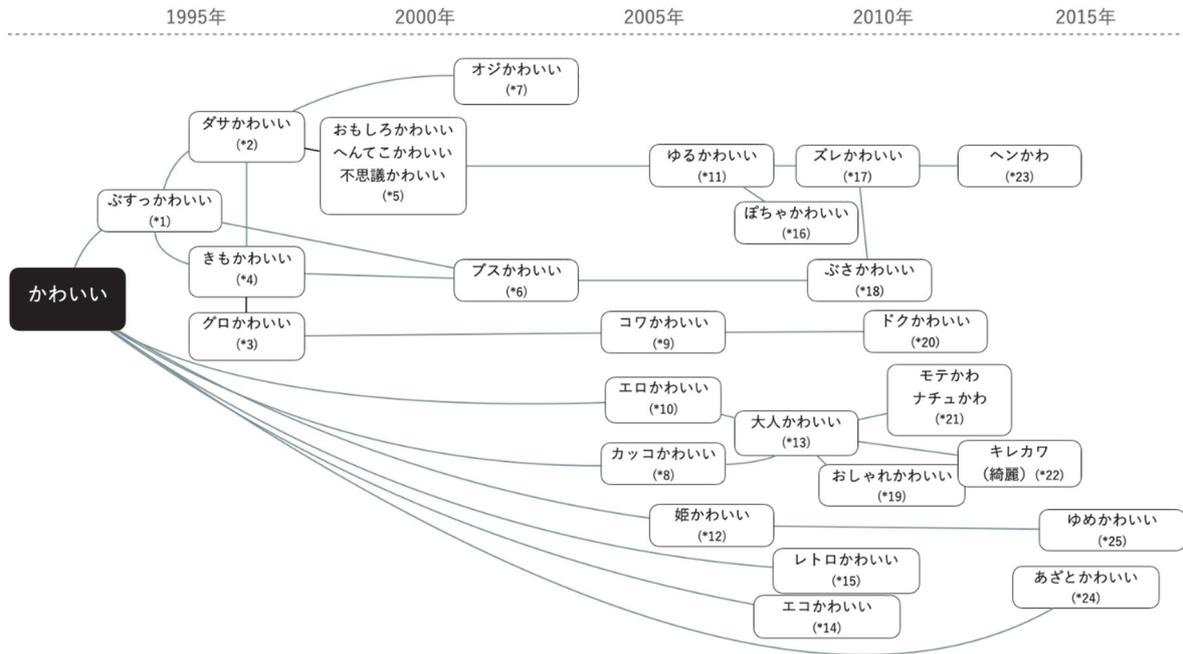


図 1. 「かわいい」複合語の変遷イメージ カッコ内の番号は表 1 での通し番号を示す
複合語同士の関連は著者の推測による

4. さまざまな複合語のマッピング

4-1. 調査目的

「かわいい」複合語の初出を調べたところ、新聞記事で使われたものだけでも 25 種類の複合語があり、図 1 に示したようにその成り立ちや意味からいくつかのグループに分かれている可能性が考えられた。例えば、「きもかわいい」と「おしゃれかわいい」は同じ複合語ではあるが、表現しているかわいさには違いがありそうである。複合語で表されるさまざまなかわいさの位置づけを知るために下記の調査を行った。

4-2. 調査対象者

インターネットを通じて、20 代から 60 代の男女に調査票への回答を求めた。調査は 2018 年 7 月下旬に株式会社クロス・マーケティングを通じて実施した。調査の実施にあたり、大阪大学大学院人間科学研究科行動学系研究倫理委員会の承認を受け(承認番号 29-112)、回答者からはインフォームドコンセントを得た。分析には 20 代から 60 代の各年代で男女

100名ずつ、計1000人分の回答データを使用した。この調査の一部は Nittono et al. (2021) で発表されており、素データは <https://osf.io/hjgwv/> で公開されている。

4-3. 調査項目

清澤 (2014) は、女性がかawaiiと感じる色の定量調査を実施する際に、雑誌、WEB、言語イメージスケールなどの幅広い用例から 24 項目の「共感できるかわいさ」を選定した。具体的には「一見ブサイクだが愛嬌があって憎めないかわいさ」「脱力感があってゆるいかわいさ」などの項目があり、「ぶさかわいさ」「ゆるかわいさ」など複合語で表される項目であった。本調査では、そこで選定された 24 項目の「共感できるかわいさ」に対して「あなたはふだん、どのくらい以下のような『かわいさ』を感じることがありますか。もっともよく当てはまるところを選んでください。」と回答を求めた。複合語そのものではなく、それぞれのかawaiiさを説明した記述（例えば、小さな子どもや動物のようなあどけないかわいさ）に対して、1：まったく感じない～6：非常によく感じるまでの 6 件法で回答してもらった。この質問紙には正解がないために、研究者の意図する次元で回答しているかどうかを確認できないことが問題点である。そのため、「かわいさ」の定義（前述したように、接近動機づけを伴うポジティブ感情）に反する 1 項目「嫌悪を感じ、近づきたくないかわいさ」を追加した。この項目に対する平均得点が低くなることを確認できれば、調査の結果は全体として妥当であるといえる。以上の 25 項目をランダムな順序で提示した。

4-4. 結果

図 2 に、24 項目の「共感できるかわいさ」をどのくらいの頻度で感じるかの評定値を示した。確認のための項目「嫌悪を感じ、近づきたくないかわいさ」に対する回答はほぼ最低得点（平均 2.5 点）であったため、調査の結果は妥当なものと考えられる。項目の平均値が評定尺度の中点（4 点）を超えたのは、「小さな子どもや動物のようなあどけないかわいさ」「純粋さが魅力的なかわいさ」「飾らず自然体なかわいさ」であった。

全体として、女性の方がさまざまなかわいさをより頻繁に感じていることが示された。「宝石など上品なかわいさ」「パステル調でふわふわのかわいさ」といったモノや非生物に対するかわいさは女性の方が感じている。これに対して「セクシーなかわいさ」は男性の得点が著しく高かった。

井原・入戸野：「かわいい」の複合語に関する小史

どのくらい以下のような"かわいさ"を感じることがありますか

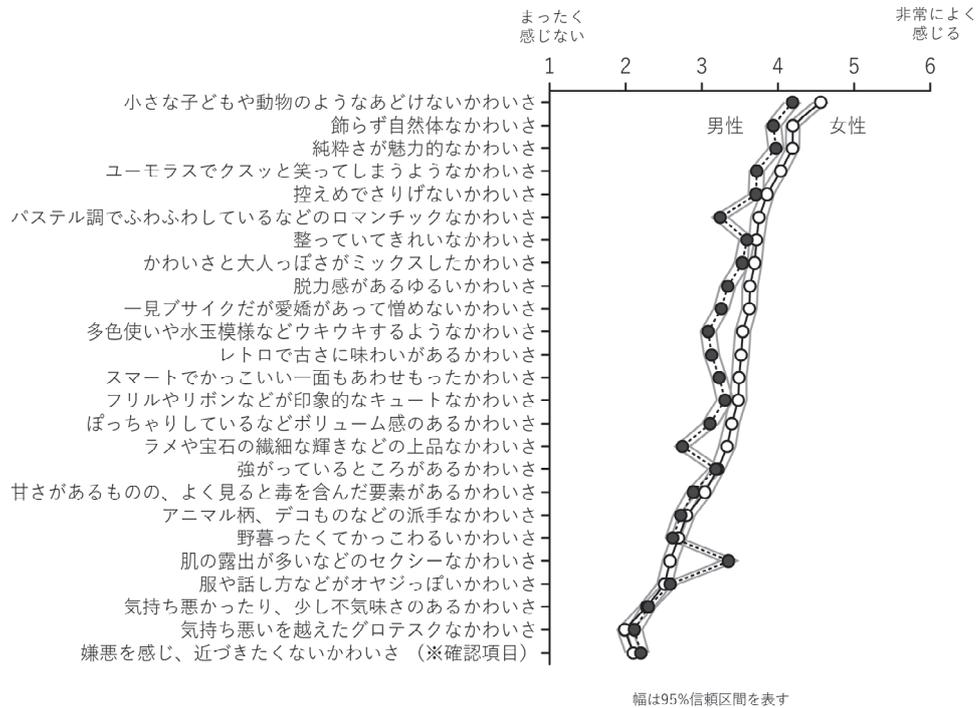


図 2. 24 項目のかわいさを感じる頻度

次に、各項目の心理的な類似度を可視化するために多次元尺度構成法 (multidimensional scaling: MDS) を用いて分析を行った。この解析手法は対象間の非類似性データ量を距離に変換することで、潜在する少数の次元や背後にある認知構造を明らかにできる (奥・高橋, 2013)。IBM SPSS version 24 の ALSCAL を用いて項目ごとの評定値を非計量ユークリッド距離モデルで類似性行列として分析し、距離行列を二次元平面上に図示したものが図 3 である。ストレス値 (S-Stress) は 0.09, 決定係数 (RSQ) は 0.97 であった。モデルがデータに完全に適合している場合のストレス値は 0, 決定係数は 1 になるので、適合度は良好であった。項目の距離行列の特徴から、次元 1 は「グロテスクなかわいさ (2.05)」と「あどけないかわいさ (4.38)」が最も遠い位置にあった。項目の特徴から、次元 1 を「快—不快」軸と解釈した。次元 2 は「セクシーなかわいさ (2.97)」と「ブサイクだが愛嬌があるかわいさ (3.44)」が最も遠く、それらの近くにある項目の特徴から「外面—内面」軸と解釈した。また、各項目の類似度と特徴から、外面的なかわいさ、内面的なかわいさ、不快な要素を含むかわいさ、の 3 つのグループに分類した。

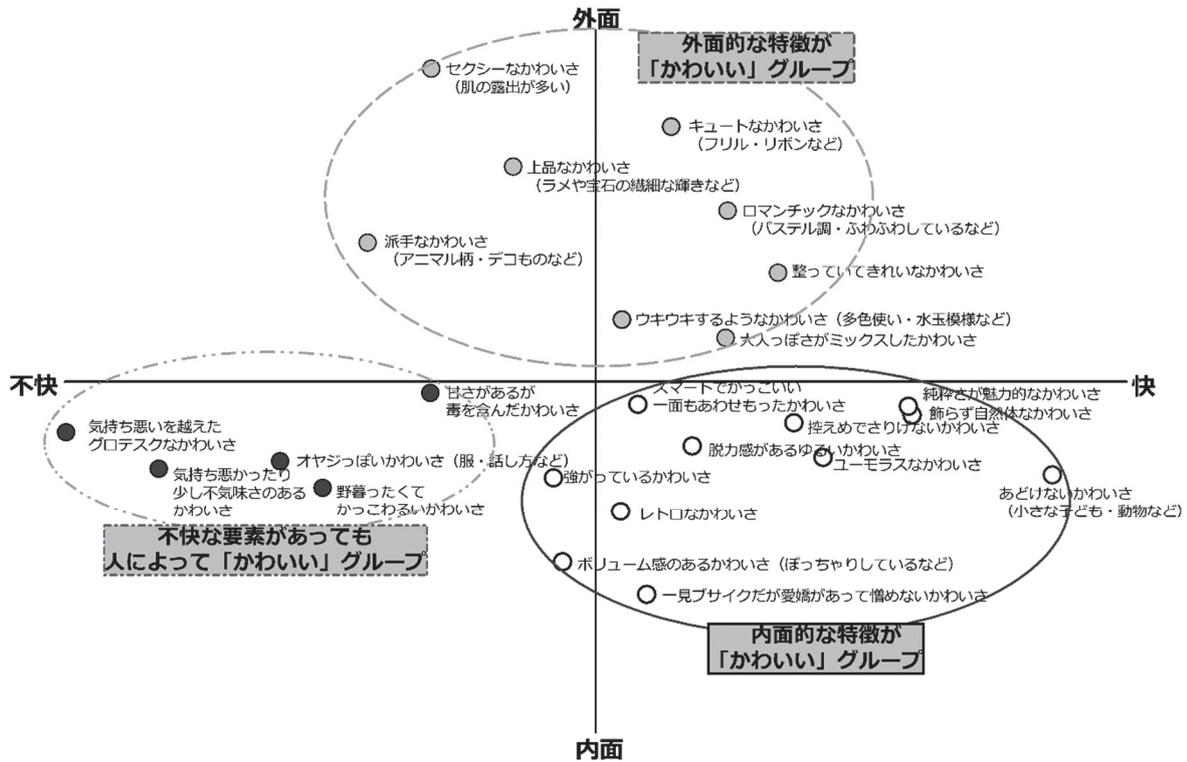


図 3. 1000 名のデータによる 24 項目のかわいさの類似度マッピング

4-5. 考察

本調査から、日常生活の中で表現されるさまざまなかわいさを感じる頻度は性別や個人によって異なっていること、それらのかわいさは3つのグループに分けられることが示された。

「かわいい」のコアには幼児に対する愛情や保護につながる生物学的な基盤がある（入戸野, 2009）と考えられている。本調査で最もかわいいと感じられることが多かったのは、「小さな子どもや動物のようなあどけないかわいさ」であった。動物行動学者のローレンツは、人間や動物の子どもには共通する見た目の要素があり、それらが人間に「かわいらしい」「愛らしい」と感じさせ、養育行動を引き起こすと考えた（Lorenz, 1965 日高・丘訳 1989）。例えば、大きくて顔の下の方についた目、ふっくら膨らんだ頬、太く短い手足、しなやかで弾力性のある肌、不器用な運動様式などを挙げている。これらの要素は外面的な特徴であるが、それらが共通して引き起こす愛らしさやあどけなさが、オリジナルの「かわいい」のコアにあると考えられる。本調査では、それに次いで「純粋さ」や「自然体」「ユーモラス」といった内面的な性質がかわいいと感じられていた。さらに、MDSを用いて類似度によるマッピングをしたところ、あどけないかわいさとその他の内面的な特徴を

持つかわいさは同じグループとして分類できた。これは、「かわいい感情」が幼さに対する保護欲求を超えたものであり、広義には親しみやすく社会的交流をしたくなるような対象に抱くポジティブな感情であるという説明と整合する（Nittono, 2016; 入戸野, 2019）。

次に、今回の分析から、2005年頃から流行した「エロかわいい」「派手かわいい」のような、外見の特徴に関するかわいさのグループが抽出された。このグループは、女性からの評価が高いという共通点でまとまっていると推測できる。本調査でも、多くの先行研究（井原・入戸野, 2012; Lieber-Milo, 2021; Nittono et al., 2021）と同様に、女性の方がより頻繁にかわいさを感じていることが示された。今回使用した24項目の「共感できるかわいさ」は、清澤（2014）が女性誌などから得られた表現をもとに選定したことも影響しているだろう。また、このグループのかわいさは、ファッション誌の流行とともに女性の間で広まった褒め言葉の一つでもある。そのため、時代によって流行の影響を受けながら変化していくことも特徴である。女性の外見を評価する際に、2022年では「エロかわいい」や「カッコかわいい」などはほとんど使われない印象があるように、主に女性の間でかわいいとされる配色や服装のトレンドは移り変わっていく。

最後に、一般には不快と感じられる要素を含んだかわいさがあることも示された。何をかわいいと感じるかは評価主体との距離感や視点、経験などによって変わる。「ひどく醜く気味が悪いものが、角度を変えて眺めてみると『かわいい』対象として認知される」と言う例も、枚挙に事欠かない。」（四方田, 2006）というように、対象の属性が変わらなくても、見方によって「かわいい感情」が喚起されることがある。「かわいい感情」は相手と関わりたいという社会的な接近や交流の動機づけに関連している（井原・入戸野, 2012; 入戸野, 2009; Sherman & Haidt, 2011）。対象が不完全であることや王道から外れていることに興味を持ち、それと関わりたいと動機づけられると、それは「かわいい感情」になる。しかし、典型的なかわいさをもたない対象であるから、それを単なる「かわいい」という言葉で表現するのは混乱を招く。この矛盾をはらんだ個人的な気持ちを表すことができる言葉として、不快な要素を含む「かわいい」複合語が誕生し、普及したと考えられる。

5. 「かわいい」の現状

1980年代までは幼いものや少女文化に対する言葉だった「かわいい」は、その後若者を中心に幅広い対象に使われるようになった。1990年代の終わりには王道を外れた「ちょっと気持ち悪い」ものにまで拡がり、2000年～2010年代には若者女性のファッション、キャラクター、アニメなどのポップカルチャーの中心的な価値観として「かわいい」ブームが起きていた。分野を横断して「かわいい」という言葉が共通していたとしても、女子高生

が原宿系ファッションに求めるかわいさと、20代女性がオフィスファッションに求めるかわいさ、アニメの美少女キャラクターが表現するかわいさや、毒や不気味さのあるキャラクターに求めるかわいさはどれも違っているはずである。そうした状況の中で、各分野でのかわいさを説明し区別するために、「かわいい」の複合語が必要とされたと考えられる。しかし、ブームが落ち着いた2020年代の「かわいい」は、もはや複合語でカテゴライズする必要がないほどに多様性を包含にした概念になっている。今や「かわいい」は、見た目の基準や、ジェンダー、カテゴリを限定しないオールラウンドな肯定表現として使われている。

このような変遷の一つの背景として、流行が細分化され、価値観が多様化していることがあるだろう。2021年、雑誌Numéro TOKYOは「Kawaiiism —みんなのカワイイ」という特集を行った。記事ではファッションに関わる人々が2021年の「かわいい」について「私のカワイイが最強」「最近メンズの世界でも『かわいい』が飛び交っています。」「『KAWAII』はジェンダーレス」と語る言葉が並んでいる。もはや、ファッション雑誌においても、特定の服装やメイクが「かわいい」といった指南が行われなくなってきたことを表している。2016年以降instagramなどのSNSが普及したことでさらにトレンドの多様化が進み、以前ほどずば抜けて支持されるものはない(稲垣, 2022)という指摘もある。SNS上には、他者のさまざまな「かわいい」が可視化されている。どんなにニッチな趣味趣向であっても仲間を見つけることもできる。モデルや芸能人など見た目のかわいさが特徴的な人であっても、SNSを通じて自身の人間性など内面的な部分も含めて評価される。こうした環境が、他者が感じた多様な「かわいい」を肯定する風潮や、内面的な部分も含めた総合評価としての「かわいい」表現につながっているのだろう。

6. おわりに

本稿では、「かわいい」を含む複合語について、その誕生から発展の過程を調べた。1990年代後半から「きもかわいい」「ださかわいい」という言葉が使われるようになり、2005年頃からは「エロかわいい」「大人かわいい」など外見の属性をカテゴライズする複合語が拡大したことがわかった。また、それぞれの複合語が表す概念を、「外面的な特徴がかわいいグループ」「不快な要素があっても人によってかわいいグループ」「内面的な特徴がかわいいグループ」の3つに分類した。

本研究の限界は、書き言葉としての初出を新聞記事から検索した点である。新聞記事は公的かつある程度網羅的に世論を反映する媒体である。公表された時点を特定できるというメリットがあるが、「かわいい」やその複合語は私的な口語であるため、新聞記事に掲

載される前に若者向けメディア等で使用されていたことは間違いない。また、新聞のメディアとしての影響度は年々低下し、読者層が変化しているため、記事の内容もそれに応じて変わっていることも考慮する必要がある。本研究で示した「かわいい」複合語の誕生年代は、真に誕生した時点ではなく、少なくともその時点までにある程度認知されていたという上限として解釈するとよいだろう。

今後の課題として、以下の2点が挙げられる。第1に、「かわいい」複合語の2020年代の現状について調べることである。本研究で取り扱った複合語が現在も日常的に使われているのかを知ることで、流行として一時的に使われていた複合語と、ある程度の普遍性を獲得した複合語の違いを考察することができるだろう。

第2の課題は、それぞれの複合語で表現される「かわいい感情」の質的な違いを検証することである。これまでの研究から、かわいいと感じることは、やさしい気持ちを生み出し、コミュニケーションなどの社会的な行動にも影響を与えることがわかっている。かわいいものをみると笑顔になり (Nittono & Ihara, 2017), 癒やし効果がある (Chou et al., 2022) だけでなく、相手の心を認め理解しようとする (Sherman & Haidt, 2011) や、寄付などの向社会的な行動を促すこと (Jang, 2021) などが報告されている。しかし、こうした研究は、主に幼い子どものかわいさによって喚起されたかわいい感情を対象に検証されてきた。しかし、本稿の4節でかわいさを「快—不快」「外面—内面」の2軸で3グループに分類したように、かわいさにはいくつかの種類がある。近年では、よりコミカルでユーモアがある「whimsical (変な, 気まぐれな) cuteness」というかわいさがもたらす特殊な心理効果についての研究もある (Nenkov & Scott, 2014)。このように、今後はかわいさの違いによってもたらされる感情の違いにも着目することで、「かわいい」の多面的な理解を一層進めることができるだろう。

注

本研究は、科研費 JP17H02651, JP21H04897 の助成を得て実施された。本研究に関して開示すべき利益相反関連事項はない。研究の着想と立案は両著者が行った。第1著者はデータベース検索, 統計解析, 草稿作成を行い, 第2著者は調査データ収集, 推敲, 研究全体の統括を行った。最終原稿は両著者が承認したものであり, 共に責任著者である。

引用文献

- 青柳 絵梨子 (2014). 〈ルポ〉かわいい! : 竹久夢二からキティちゃんまで 寿郎社
- 朝日新聞 (1985). 乏しい表現力かわいい連発 (声) 8月4日東京朝刊, 5.
- 朝日新聞 (1988). 年齢選ばぬハイテク生活, 幼児用オーディオ商戦—経験度外視の“平等化” かわいさが価値基準— 12月3日東京夕刊, 11.
- Chou, H. Y., Chu, X. Y., & Chen, T. C. (2022). The healing effect of cute elements. *Journal of Consumer Affairs*, 56(2), 565–596. <https://doi.org/10.1111/joca.12414>
- 井原 なみは・入戸野 宏 (2012). 対象の異なる"かわいい" 感情に共通する心理的要因 広島大学大学院総合科学研究科紀要I人間科学研究, 7, 37–42.
<https://doi.org/10.15027/33096>
- 今吉 賢一郎 (1990). [この人と] 南伸坊さん (イラストレーター) /2 毎日新聞 7月25日東京夕刊, 5.
- 稲垣 涼子 (2022). カワイイエコノミー 日経 BP
- Jang, H. (2021). Cuteness mediates the effect of happy facial expressions on empathy and charitable donations. *International Review on Public and Nonprofit Marketing*.
<https://doi.org/10.1007/s12208-021-00322-2>
- 清澤 雄 (2014). かわいい色の調査結果に基づく評価者のクラスター分類とその嗜好特性 日本感性工学会論文誌, 13(1), 107–116. <https://doi.org/10.5057/jjske.13.107>
- 古賀 玲子 (2009). 「かわいい」の帝国：モードとメディアと女の子たち 青土社
- Lieber-Milo, S. (2021). Cute at an older age: A case study of Otona-Kawaii. *Mutual Images Journal*, 10, 93–108. <https://doi.org/10.32926/2021.10.lie.otona>
- Lorenz, K. (1965). *Über tierisches und menschliches Verhalten II*. München: Piper. (ローレンツ, K. 日高敏隆・丘直通(訳)(1989). 動物行動学II 思索社)
- 増淵 宗一 (1987). リカちゃんの少女フシギ学 新潮社
- 増淵 宗一 (1994). かわいい症候群 日本放送出版協会
- May, S. (2019). *The power of cute*. Princeton University Press. (メイ, S. 吉嶺英美訳 (2019). 「かわいい」の世界 ザ・パワー・オブ・キュート 青土社)
- みうら じゅん (2004). ゆるキャラ大図鑑 扶桑社
- 村岡 清子 (1997). 草履・下駄の人気定着—「和」の良さ新鮮にとらえ (流行ウォッチング) 日経産業新聞 8月7日, 21.
- 長友 佐波子 (1997). メイド・イン・ストリート スタイルは街から生まれる アエラ, 6月9日号, 30.

- 中村 桂子 (2012). 日本の「かわいい」図鑑 河出書房新社
- 中野 香織 (2002). 重ね着は進化する (モードの方程式) 日本経済新聞 5月10日東京夕刊
- 中野 稔 (2006). ファッション雑誌で一人勝ち—カリスマ性と実用性で圧倒 日本経済新聞 2月14日東京夕刊, 20.
- Nenkov, G. Y., & Scott, M. L. (2014). “So cute I could eat it up”: Priming effects of cute products on indulgent consumption. *Journal of Consumer Research*, 41(2), 326–341. <https://doi.org/10.1086/676581>
- 日経流通新聞 (2001). とぼけた味「立体福笑い」 3月15日, 20.
- 入戸野 宏 (2009). “かわいい”に対する行動科学的アプローチ 広島大学大学院総合科学研究科紀要I人間科学研究, 4, 19–35. <http://doi.org/10.15027/29016>
- Nittono, H. (2016). The two-layer model of ‘kawaii’: A behavioural science framework for understanding kawaii and cuteness. *East Asian Journal of Popular Culture*, 2(1), 79–95. https://doi.org/10.1386/eapc.2.1.79_1
- 入戸野 宏 (2019). 「かわいい」のちから：実験で探るその心理 化学同人
- Nittono, H., & Ihara, N. (2017). Psychophysiological responses to kawaii pictures with or without baby schema. *SAGE Open*, 7(2). <https://doi.org/10.1177/2158244017709321>
- Nittono, H., Lieber-Milo, S., & Dale, J. P. (2021). Cross-cultural comparisons of the cute and related concepts in Japan, the United States, and Israel. *SAGE Open*, 11(1). <https://doi.org/10.1177/2158244020988730>
- Numéro TOKYO (2021). Kawaiiism みんなのカワイイ, 15(14).
- 奥 喜正・高橋 裕 (2013). データ解析の実際 丸善プラネット
- 大塚 英志 (1989). 少女民俗学：世紀末の神話をつむぐ“巫女の末裔” 光文社
- 斎藤 環 (2011). “移行対象”の手触り 芸術新潮 特集ニッポンのかわいい, 62(9), 89.
- 島村 麻里 (1991). ファンシーの研究：「かわいい」がヒト，モノ，カネを支配する ネット
- Sherman, G. D., & Haidt, J. (2011). Cuteness and disgust: The humanizing and dehumanizing effects of emotion. *Emotion Review*, 3(3), 245–251. <https://doi.org/10.1177/1754073911402396>
- 高橋 幸 (2018). 「モテたい」願望の表明による「女らしさ」の強化—2000年代『Can Cam』における「モテ」表象の分析 女性学, 25, 84–92. https://doi.org/10.50962/wsj.25.0_84

- 玉崎 英次 (2016). 「ぐうかわ」「ゆめかわ」...若者言葉に「かわいい」新語続々 産経新聞オンライン 10月17日, <https://www.sankei.com/article/20161017-ZSCQUPFJDJNORDCJJE3YQNL7M/2/>
- 宇治川 正人 (2021). 「かわいい」と思う感情を表現する語の変遷—古語辞典・国語辞典の記述の分析 日本感性工学会論文誌, 20(3), 249–256.
<https://doi.org/10.5057/jjske.TJSKE-D-21-00008>
- 読売新聞 (1992). 何にでも『これ、かわいい!』 語義が豊富?表現の貧困? 読売新聞 7月29日東京夕刊, 7.
- 読売新聞 (2002). [ニッポン流行記] ミャー人形「きもかわいい」お守り 読売新聞 6月22日東京夕刊, 7.
- 四方田 犬彦 (2006). 「かわいい」論 筑摩書房
- 米川 明彦 (2002). 明治・対象・昭和の新語・流行語辞典 三省堂
- 吉川 学 (2000). [人模様] 「ださかわいさ」の研究=共立女子大学4年・行徳玲子, 佐藤のぞみさん 毎日新聞 6月30日東京夕刊, 3.
- 吉光 正絵 (2017). 〈カワイイ〉の銀河系 吉光正絵・池田太臣・西原麻里(編)ポスト〈カワイイ〉の文化社会学 —女子たちの「新たな楽しみ」を探る— (pp. 1–49) ミネルヴァ書房

井原・入戸野：「かわいい」の複合語に関する小史

表1. 新聞記事での「かわいい」複合語の初出

No.	年	複合語	掲載記事の詳細	出典
1	1986	ぶすっかわいい	「へたうま」と同じ種類の言葉としてブスとはいうもののかわいいという意味の「ぶすっかわいい」を紹介	川崎洋 (1986). 日曜くらぶ：流行語40年 毎日新聞 6月22日東京朝刊, 11
2	1997	ダサかわいい	やぼったい花柄やギンガムチェックが「ダサかわいい」と再び注目されているというファッション評論	日経流通新聞 (1997). キュートな魅力, 水辺にも70年代。 4月17日, 11.
3		グロかわいい	未知への憧れや個性を表現したい若者が「グロかっこいい」「グロかわいい」という新たな価値観を見出しているという評論	日本経済新聞 (1997). グロテスクなグッズ人気——クールな魅力は「グロかわいい」, 宇宙人や恐竜など。 5月10日東京朝刊, 35.
4		キモかわいい	女子高生が一風変わったキャラクターを「キモかわいい」と好んでいる流行について, これまで負の価値を担われてきたものにも新しい価値を見出しているという評論	毎日新聞 (1997). [時流語辞典] きもかわいい 9月26日東京夕刊, 16.
5	1998	おもしろかわいい・へんてこかわいい・不思議かわいい	かわいいという言葉が氾濫し, 言葉の意味が枝分かれしながら, 表現する内容も複雑になっているという流行語評論	大原悦子 (1998). かわいい 無難で便利, でもご用心 (探検キーワード) 朝日新聞 10月3日東京夕刊, 11.
6	2002	ブスかわいい (キモかわいい)	渋谷・原宿で流行している重ね着ファッションが, 安易な「かわいさ」の判定を否定するいわゆる「キモかわいい」「ブスかわいい」スタイルであるという評論	中野香織 (2002). 重ね着は進化する (モードの方程式) 日本経済新聞 5月10日東京夕刊, 12.
7		オジかわいい	父親の服を組み合わせたファッションが「オジかわいい」と言う女子大学生の流行を紹介	小松亜子 (2002). オヤジのお下がりが ダボツとかわいく (ウチらのはやりモン) 朝日新聞 10月20日東京朝刊, 32.
8	2005	カッコかわいい	女子中高生が「等身大の自分から大人の女性へ」と願う気持ちを「カッコかわいい」というトレンドとして紹介	中村泰子 (2005). 資生堂のシャンブー「ティセラ・マジカルノート」(プロの商品評価) 日経産業新聞 2月8日, 20.
9		コワかわいい	愛・地球博の警備ロボット「ムジローとリグリオ」が親しみやすさと不審者への威圧感を両立させたデザインで「こわカワイイ」と紹介	朝日新聞 (2005). 警備ロボ, こわカワイイ ガイド役にも 愛・地球博 2月10日名古屋版夕刊, 10.
10		エロかわいい	歌手の倅田来未が媚びない自己表現としての新しいエロチックさを表現した「エロかわいい」として女性に支持されているという紹介	石井誠 (2005). 倅田来未の大阪コンサート——“エロかわいい”に女性共感 (タウン・ビート) 日本経済新聞 11月21日近畿特集.
11	2006	ゆるかわいい	「ゆるかわいい」と人気の彦根地方キャラクター, ひこにゃんの紹介	読売新聞 (2006). ひこにゃんに会いたい 彦根城400年祭キャラクターが人気=滋賀 読売新聞 9月30日大阪朝刊, 35.
12		姫かわいい	下着メーカーと10代女性向け雑誌が「姫かわいい」「エロかわいい」というテーマで共同開発した下着の紹介	日経MJ (2006). ワコール, 10代向け下着, 女性誌と開発。 12月20日, 6.

井原・入戸野：「かわいい」の複合語に関する小史

No.	年	複合語	掲載記事の詳細	出典
13	2007	大人かわいい	20代後半の女性が「大人かわいい」というファッショントレンドを好むというファッションの流行を紹介	日本経済新聞(2007).大人かわいい——Y世代、通勤着選びも奔放(さぶかるウォッチング) 3月17日東京夕刊, 3.
14		エコかわいい	舶来思想の「ロハス」と違って「エコかわ」は地に足がついた身の丈サイズ的环境意識であるという評論	日本経済新聞(2007).エコかわいい——長続きの秘訣は「日本的」(さぶかるウォッチング) 7月21日東京夕刊, 3.
15		レトロかわいい	女性から「レトロかわいい」と好評でブームになりつつあるチェコ文化の紹介	日経MJ(2007).チェコ、手作りの風、新世界より——カフェ、雑貨、アニメ(ブームの予感) 8月29日, 16.
16		ぼちゃかわ	お笑い芸人の柳原可奈子について、ぼっちゃりとした愛らしい「ぼちゃかわ」体型が人気と紹介	清川仁(2007).[ALL ABOUT]柳原可奈子「ぼちゃかわ」娘は笑いの求道者 読売新聞 11月21日東京夕刊, 10.
17	2008	ズレかわいい	正統派なかわいいキャラクターではない「つつこみどころ」を残したものがヒットしているという評論	日本経済新聞(2008).ズレかわいい——キャラクターに「つつこみ」(さぶかるウォッチング) 4月19日東京夕刊, 3.
18	2009	ぶさかわいい	ぶさいくだがかわいいところが「ぶさかわいい」と呼ばれて人気の秋田犬“わさお”がテーマの写真展告知	塚本弘毅(2009).写真展：ぶさかわいい「わさお」 鱒ヶ沢で始まる／青森 毎日新聞 2月19日地方版／青森, 23.
19		おしゃれかわいい	「おしゃれかわいい」をテーマに街おこしイベントを開催した商店街の取材記事	磯崎こず恵(2009).劇場のような街へ 柳ヶ瀬・日ノ出町商店街が「宣言」 23日まで、幻まつり／岐阜県 朝日新聞 12月19日地方版／岐阜, 35.
20	2011	ドクカワ：毒があるけどかわいい	「ドクカワ」は斜に構えたかわいさの象徴であり、「キモカワ」など同様に「かわいい」のバリエーションを拵げているという評論	日経MJ(2011).「ドクカワ」、女性ホネ抜き——ドクロ、毒気抜いてカワイク(ブームの裏側) 7月13日, 20.
21		モテかわ・ナチュかわ	駅ビルの20代女性をターゲットにした新しいフロアのテーマを、「キャンパス向けのモテかわ系や自然派のナチュかわ系」と紹介	毎日新聞(2011).つながる九州：新博多駅ビル内覧会(その2) オープンへ準備万端 9月1日西部朝刊, 27.
22	2013	キレカワ：奇麗でかわいい(プスカワ、カッコカワイイ)	「かわいい」という言葉のバリエーション紹介と、福岡市のPR「カワイイ区」についての評論	鬼束信安(2013).「かわいい」が起こした騒動 読売新聞 2月22日東京朝刊, 13.
23	2014	へんかわ：変だけどかわいい	「変だけどかわいい」生き物を紹介するTV番組の紹介	小間井藍子(2014).[おやこ de TV]「へんないきもの2014」 読売新聞 5月29日東京朝刊, 25.
24	2016	あざとかawaii	Jリーグチーム、V・ファーレン長崎のキャラクター、ヴィヴィクんの紹介	勝見壮史(2016). (週刊Jリーグ) マスコットどれ推し? 総選挙、投票きょう締め切り 20日発表 サッカー 朝日新聞 2月12日東京夕刊, 10.
25	2017	ゆめかわいい：夢みたいにかawaii	あらいぐまのキャラクター「ラスカル」がゆめかわいいをテーマに期間限定ショップを出展する告知	読売新聞(2017).[POP友] ショップやベーカリーに出展中 パッケージに採用 読売新聞 9月13日東京朝刊, 8.